

【第1回】

平安文学と白楽天

2024年**11月13日**(水)

例えば『枕草子』第299段「雪のいと高う降りたるを…」が下敷きにした詩は、中唐の白居易（白楽天）が左遷先で作ったものでした。その生存中にすでに日本に伝来していたという白居易詩、その詩語や背景等に注目しながら人気の秘密を探ってみましょう。

【第2回】

盛唐の詩人たち

2024年**11月20日**(水)

『おくの細道』にも影響を与えた杜甫と李白、二人の作風を較べるときふと森鷗外と夏目漱石を連想してしまうのは、境遇の違いを思うからかもしれません。盛唐の詩人たちの作品を、安史の乱という激動の時代での身の処し方という角度から読んでみましょう。

時間 18:00～19:30

会場 広島経済大学 興動館3階
(広島市安佐南区祇園5丁目1-27)

定員 30名(先着順) **※受講無料**

講師 岡本 恵子
(広島経済大学 教養教育部 教授)



放送中の大河ドラマでも、漢詩文がしばしば登場します。平安人が漢詩文で思いを伝えたり、それを素材に楽しんだりする場面からも、日本文学が漢詩文を取り入れてきた歴史の一端が垣間見えます。では元の漢詩文はどのような作品だったのか。作者の多くは基本的にサラリーマンでした。それが作品とどのように関わるか、本講座では具体的な作品に即して見ていきます。文学は人間の息吹、時空を超えて一緒に考えていただけたらと思います。

申込方法 申込フォームにて必要事項をご入力の上、お申込みください。
申込締切日: 11月7日(木)

●申込フォーム

→<https://forms.office.com/r/t29trgqrtg>

※電話による申し込みはお受けできませんのでご了承ください。
※申込された方には、開講までに受講案内をメールで送付いたします。

<問合せ先> 広島経済大学 教育・学習支援センター

【TEL】(082) 871-9345 【E-mail】spt-sc@hue.ac.jp

唐代詩人は
サラリーマンだった！

【申込フォームQRコード】

